

(株)ダイトー  
代表取締役

PICK UP

THE PERSON

# 岩永 雄資

KEY WORD

## 連携力

— Collaboration power —

企画から製本までワンストップで印刷を手掛ける『ダイトー』は、各工程の部門に腕利きのスタッフを揃え、「良い印刷物を顧客に届ける」という高い志を共有して仕事にあたっているのが自慢だ。そのチームワークへのこだわりは、岩永社長のこの一言にも表れている。「私は、腕が良く器用だが目標を共有できない人と、不器用だが同じ志・目標を持つてくれる人がいれば、後者と一緒には仕事をしたいのです」——。

この言葉に共感できる人たちが集まった高い連携力こそが、同社の最大の武器だ。



「同じ志、目標を持つ人たちと  
共に会社を守り立てていく」



代表取締役

# 岩永雄資

神奈川県川崎市出身。18歳で製本業界に入り、30歳の時に『マス・プロ製本』として独立を果たす。その後、『川崎プリント興業』と統合。さらに『ダイトー』をマス・プログループに迎え入れた。現在は三社の代表取締役として、経営にあたっている。

を提案し、世の中にアナログならではの印刷物の価値を発信していきたいと考えています。そのために、「企画・提案」、「デザイン・制作」、「出力・CTP」、「印刷・色校正」、「製本加工・検品」と、各工程のプロフェッショナルがそれぞれ責任と誇りを持って仕事にあたっているんですよ。スタッフは私一人では管理しきれない人数ですが、各部署の責任者に信頼のおける人材が揃っていますから、彼らに監督を一任することができています。

——良いスタッフに恵まれているんですね。それに、皆さん同じ目標を共有して一丸となって仕事にあたっておられるように感じます。

それが当社の強みの一つかもしれません。私はたとえば、腕が良く器用だが目標を共有できない人と、不器用だが同じ目標を持ってくれる人がいれば、後者と一緒に関心したいと考えているんですよ。

## 培った経験と技術を以て 様々な依頼や相談に対応

- ▼創業50年という、長い歴史と伝統を持つ『ダイトー』。時代の変化に対応しつつ、顧客の依頼に応え続ける中で培ってきたノウハウが、同社の強みの一つだ。企画・デザインから印刷・製本までワンストップで業務を行っていることも相まって、同社は印刷に不慣れな顧客にも、的確かつ親身なサポートを行ってくれる。
- ▼たとえば、販促ツールを作りたいが、自分たちに相応しい形式が分からない、という場合でも、用紙の選択や加工など、経験と実績ある営業マンが逐一相応しいものを提案し、効果の高い印刷物が制作できるよう、しっかりと導いてくれる。
- ▼さらに印刷用データには「Illustrator」や「InDesign」といった専門的なソフトのデータが用いられることが多いが、同社はOffice系ソフトやPDFなどにも対応しており、顧客が慣れ親しんだソフトを扱える。「印刷物を作ってみたが、どうして良いか分からない」といった悩みを抱えている方は、『ダイトー』に相談・依頼をしてみてもいいかならうか。

そのように目標を共有し、一所懸命に仕事をしてくれる人は見れば分かりますしね。そういう人たちが大事にし、これからも皆で一緒に事業を守り立てていきたいです。

——そんな関係を周囲と築いておられるなんて羨ましい限りですよ。今後は、どんな目標を考えておられますか。

まずは営業と製本現場において人を増やし、設備投資も行っていきたいですね。そして、5年の間に、神奈川県で一番の印刷会社となるのが目標です。そのために、「小さな目標」を大切にしたいですね。たとえば一日に2万冊製本するとなれば、その一日一日の目標達成を何より大事にする。そして、社員一人ひとりが達成した時の感動を実感・共有し、次なる目標へのモチベーションにつなげていく。そんな小さな積み重ねを続けることで、横浜で一番、神奈川県で一番というように、より大きな目標の達成につながっていくと信じています。



# 常により高い品質の印刷物を希求し 紙の価値を世に発信し続ける

企画・提案から印刷・製本まで、印刷物に関わる業務をワンストップで行っている『ダイトー』。創業50年の長い伝統を持ち、培ってきたノウハウと、紙の印刷物を手掛けることへの誇りを胸に、質の高い印刷物を顧客に届けている印刷会社だ。本日は同社を率いる岩永社長のもとを村野武範氏が訪れ、お話を伺った。

## 岩永雄資



対談  
村野武範

——まずは、「ダイトー」さんの沿革から伺います。

当社は1968年から続く印刷会社です。私は元々別会社である「マス・プロ製本」を運営しており、「ダイトー」は10年来のお付き合いのあるお得意様でした。ところが、「ダイトー」の先代社長が亡くなり、このままでは工場を使えなくなるなど危機に陥っていると聞きまして、何とかしたいとの一心で、私が経営を引き継いだのです。そして「ダイトー」は2017年に「マス・プログループ」として、「マス・プロ製本」と「川崎プリント興業」のグループ会社となりました。先代社長とは、「一緒に会社を手掛け、業界を盛り上げていこう」というお話も何度かしていたことも、当社の経

営を引き継いだ理由の一つでした。

——岩永社長と先代社長との絆があつて、今のグループの連携があるんですね。御社ではどのような印刷物を手掛けておられるのでしょうか。

チラシやパンフレット、カタログや広報誌などの商業印刷、書籍や雑誌、教科書などの出版印刷、名刺や伝票などの事務用印刷、商品券やチケット、ダンボールなどの特殊な印刷というように、様々な印刷に対応。質の高いモノクロ印刷のできる設備を整えており、モノクロページ中心の書籍や参考書の制作においては特に高い評価をいただいております。

——「ダイトー」さんならではの強みをお持ちという訳だ。ところで、社長はこのお仕事のようなところで魅力を感じておられますか。

「紙の印刷物」という媒体に携われることですね。近年は電子書籍やインターネットなど、機能性の高いツールもたくさん生まれていますが、紙の印刷物は老若男女を問わず、数多くの人が利用できるという強

Commemorative Photo



村野武範 (俳優)

「紙の印刷物に強い魅力を感じ、その魅力を伝えられる印刷物を作ろうと、日々頑張っておられる『ダイトー』さん。デジタルの存在感が高まる昨今ですが、その熱い情熱で、デジタルを凌駕する印刷物を作っていて下さいね」

Guest comment



株式会社 **ダイトー**  
DAITO CORPORATION

【本社／工場】神奈川県横浜市鶴見区大黒町 9-3 マス・プロビル  
URL : <http://daitoprint.jp>

グループ会社

株式会社 **マス・プロ製本**  
株式会社 **川崎プリント興業**

【本社／工場】神奈川県川崎市中原区宮内 1-6-3